

製品造形論

選 択

開講年次：2年次後期

科目区分：講 義

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■科目的ねらい：本講義は、製品を造形（特にプロトタイピング）する際に必要となる基礎的な知識の習得を目的とする。具体的にはデザイン材料・造形法・塗装という3つの領域に分け、それぞれの特性・利用法の習得を目指す。他の授業によって培われたデザイン発想を3次元造形物へと展開する際、効率的に活用できる知識の習得が最終的な到達目標である。

■到達目標：①基本的な材料特性の理解・基礎的な造形方法の習得・多様な塗装方法の理解と習得
②デザインする対象によって材料・造形法・塗装法を選択することができるようになる

■担当教員：

矢久保 空遙

■授業計画・内容：

- 第 1 回 製品設計と造形
- 第 2 回 形態による機能と感性
- 第 3 回 製品造形における諸要素
- 第 4 回 デザイン材料（有機材料）
- 第 5 回 デザイン材料（無機材料）
- 第 6 回 デザイン材料（その他の材料）
- 第 7 回 「材料」を造形に活かす
- 第 8 回 造形法（加工法）
- 第 9 回 造形法（自動造形）
- 第10回 造形法（特殊な造形法）
- 第11回 「構造」を造形に活かす
- 第12回 塗装（塗装の仕組み）
- 第13回 塗装（塗料の選択）
- 第14回 塗装（塗装方法）
- 第15回 プロダクトにおける表面の効用

■教科書：資料を適宜配布する

■参考文献：文部科学省『デザイン材料』（海文堂出版株式会社）等

■成績評価基準と方法：

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②		
定期試験				
小テスト・授業内レポート	◎	◎	製品の造形に関する基礎的な知識を習得できているか	80
授業態度	○	○	積極的な姿勢	20
発表				
作品				
出席			2/3以上の出席	欠格条件
その他				

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■関連科目：プロダクト系演習科目・卒業研究(制作)

■その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）：授業毎に簡単な小テスト（ノート見てOK）を実施します。

10分以上の遅刻で遅刻日の授業態度点を減点します。